

今日のトピック 2023年7月の注目イベント
FOMCで利上げ実施か、日銀の長短金利操作の修正はあるか

- 7月は日米欧の金融政策決定会合が開かれます。まず、米連邦公開市場委員会（FOMC）が25日～26日に開催されます。6月のFOMCでは、米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を据え置く一方、政策金利見通し（ドットチャート）で年内あと2回の利上げを示唆しました。FRBのパウエル議長は、利上げの有無は「データ次第」の判断になると強調しており、7月FOMCで利上げ実施となるか注目されます。
- 欧州中央銀行（ECB）の理事会は27日に行われます。ECBのラガルド総裁は前回理事会後の記者会見で「7月に利上げを続ける可能性が高い」と述べており、ECBは追加利上げを決めるとみられます。日本の金融政策決定会合は27日～28日に行われます。日銀が物価見通しを上方修正する可能性が高いとみられるなか、長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）を修正するか注目されます。
- 経済指標では、日本の6月日銀短観や、米国、欧州、中国の4-6月期GDPが発表されます。各国・地域の景気動向を確認するうえで注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2023年7月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
3日:6月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 5日:FOMC議事録 6日:6月ISM非製造業景況指数、5月貿易収支 7日:6月雇用統計	6日:ユーロ圏5月小売売上高	3日:中国6月財新製造業PMI 4日:豪州金融政策決定会合 5日:中国6月財新非製造業PMI 10日:中国6月CPI、PPI	3日:6月日銀短観 7日:5月家計調査、5月毎月勤労統計、5月景気動向指数 10日:5月国際収支、6月景気ウォッチャー調査
12日:6月消費者物価指数(CPI) 、米地区連銀経済報告 13日:6月生産者物価指数(PPI) 14日:7月ミシガン大学消費者センチメント指数 18日:6月小売売上高、6月鉱工業生産	13日:ユーロ圏5月鉱工業生産 14日:ユーロ圏5月貿易収支 19日:英国6月CPI 20日:ユーロ圏7月消費者信頼感指数	13日:中国6月貿易収支 17日:中国4-6月期GDP 、6月小売売上高、6月鉱工業生産、6月固定資産投資 20日:豪州6月雇用統計、トルコ金融政策決定会合	12日:6月企業物価指数、5月機械受注
24日:7月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 25日:5月S&Pコアロジック・ケースシラー住宅価格指数、7月コンファレンスボード消費者信頼感指数 25-26日:FOMC 27日:4-6月期GDP 28日:6月個人所得、6月個人消費支出(PCE)、6月PCEデフレーター	24日:ユーロ圏7月PMI 25日:ドイツ7月IFO企業景況感指数 27日:ECB理事会 31日:ユーロ圏4-6月期GDP 、ユーロ圏7月CPI	26日:豪州4-6月期CPI 31日:中国7月製造業、非製造業PMI、メキシコ4-6月期GDP	21日:6月全国CPI 26日:6月企業向けサービス価格指数 27-28日:日銀金融政策決定会合 28日:7月東京都区部CPI 31日:6月小売業販売額、6月鉱工業生産、6月住宅着工件数

(注) 2023年6月27日現在。日付は現地時間。（出所）各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之（いしい やすゆき）

ここもチェック! 2023年5月26日 2023年6月の注目イベント
2023年4月25日 2023年5月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。